

旭川市報道依頼

各報道機関 様

KJ00276391

2024年6月14日

発信課	消防本部市民安心課消防団担当
担当者	宮本 旭
連絡先	電 話 0166-74-3249
	F A X 0166-33-1191
	E-mail a_miyamoto@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事 ☒ 募集 ☐ 契約・入札 ☐ 会議・説明会 ☐ その他 ☐
日 程	令和6年6月23日 8時45分 ～ 令和6年6月23日 12時00分
発表項目 (行事名)	令和6年度旭川市消防団消防訓練大会
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	1 目的 消防諸般の要求に応えるために、消防団員として日頃から訓練を重ねた規律及び部隊活動の成果を示すとともに、分団相互の融和協調を高め旭川市消防団の一層の団結を図ることを目的とする。 2 日時 令和6年6月23日(日) 午前8時45分から午後0時00分まで 3 場所 旭川市東光27条8丁目 旭川市総合防災センター 4 主催 旭川市 5 協力 公益財団法人 北海道消防協会
添付資料	有 ☒ 無 ☐
報道(取材)に当 たってのお願い	
備 考	

令和6年6月14日

報道機関各位

旭川市消防本部
市民安心課消防団担当課長

令和6年度旭川市消防団消防訓練大会の報道について（依頼）

このことについて、次のとおり開催しますので報道いただきますようお願い申し上げます。

1 目的

消防諸般の要求に応えるために、消防団員として日頃から訓練を重ねた規律及び部隊活動の成果を示すとともに、分団相互の融和協調を高め旭川市消防団の一層の団結を図ることを目的とする。

2 日時

令和6年6月23日（日） 午前8時45分から午後0時00分

3 場所

旭川市東光27条8丁目 旭川市総合防災センター

4 主催

旭川市

5 協力

公益財団法人 北海道消防協会

6 内容

(1) 8:50 開会式

(2) 9:20 訓練開始（小隊訓練・操法訓練・中継送水訓練）

(3) 11:50 閉会式

7 その他

詳細別添資料

（担当者）

旭川市消防本部市民安心課

消防団担当 沼田・宮本

電話 (0166)74-3249

内線 811243

令和6年度旭川市消防団消防訓練大会次第（案）

1	入	場		8 : 4 5
2	開	会	式	8 : 5 0
(1)	開会宣言			
(2)	人員報告			
(3)	国旗掲揚			
(4)	黙祷			
(5)	市長挨拶	旭川市長	今 津 寛 介	
(6)	来賓祝辞	上川総合振興局長	竹 澤 孝 夫 様	
		旭川市議会議長	福 居 秀 雄 様	
(7)	来賓紹介			
3	訓 練 開 始			9 : 2 0
	小隊訓練（行進間）		1 1 隊	
	小型ポンプ操法		7 隊	
	ポンプ車操法		2 隊	
	中継送水訓練		3 4 個分団	
4	消 防 操 法 披 露	ポンプ車操法	第 2 8 分団	1 1 : 4 0
5	閉	会	式	1 1 : 5 0
(1)	査閲官講評	旭川市消防長	河 端 勝 彦	
(2)	大会長挨拶	旭川市消防団長	古 里 一 朗	
(3)	国旗降納			
(4)	閉会宣言			1 2 : 0 0

大会実施概要（案）

1 目 的

消防諸般の要求に応えるために、消防団員として日頃から訓練を重ねた規律及び部隊活動の成果を示すとともに、分団相互の融和協調を高め旭川市消防団の一層の団結を図ることを目的とする。

2 日 時

令和6年6月23日（日）午前8時45分から午後0時00分まで

3 場 所

旭川市東光27条8丁目 旭川市総合防災センター

4 主 催

旭川市

5 協 力

公益財団法人 北海道消防協会

6 大会役員

顧問	北海道消防協会	会 長	花 田 了 彰
名誉大会長	北海道消防協会	副会長	吉 川 英 一
名誉副大会長	上川地方支部	支部長	古 里 一 朗
	上川地区消防団長会	会 長	大 場 義 一
大会長	旭川市消防団	団 長	古 里 一 朗
副大会長	旭川市消防団	副団長	畑 山 義 裕
	旭川市消防団	副団長	砂 田 賢 一
	旭川市消防団	副団長	森 山 敏 治
	旭川市消防団	副団長	水 野 浩
	旭川市消防団	副団長	高 島 康 夫
	旭川市消防団	副団長	松 下 博 之
	旭川市消防団	副団長	鎌 倉 秀 夫
	旭川市消防団	副団長	滝 川 岳 雪
査閲官	旭川市消防本部	消防長	河 端 勝 彦

7 入場行進

総指揮者 旭川市消防団 副団長 森 山 敏 治

8 大会参加車両、人員

旭川市消防団 35個分団、車両34台、消防団員616名（6月3日現在）

9 訓練実施方針

消防団活動の基本である安全性、規律を求めることを目的として、タイム計測、順位等の優劣の付与を廃止し、別に安全確実性の講評を行う。

10 訓練種目

- (1) 小隊訓練
- (2) 小型ポンプ操法
- (3) ポンプ車操法
- (4) 中継送水訓練

11 訓練出場分団

①ポンプ操法 (1コース 小型17分団, 2コース 小型21分団)

②小隊訓練 (Aコース 18・19分団, Bコース 16分団)

[③中継送水訓練 (ヘリポート 16, 17, 18, 19, 20, 21, 女性分団)

[③小隊訓練 (Aコース 23・24分団, Bコース 25・27分団)

④ポンプ操法 (1コース 小型22分団, 2コース 小型26分団)

[⑤中継送水訓練 (ヘリポート 22, 23, 24, 25, 26, 27分団)

[⑤ポンプ操法 (1コース なし, 2コース ポンプ車31分団)

⑥小隊訓練 (Aコース 32・33分団, Bコース 29分団)

[⑦中継送水訓練 (ヘリポート 28, 29, 30, 31, 32, 33分団)

[⑦小隊訓練 (Aコース 3・4分団, Bコース 12分団)

⑧ポンプ操法 (1コース 小型1・2分団, 2コース 小型14分団)

[⑨中継送水訓練 (ヘリポート 1, 2, 3, 4, 12, 13, 14, 15分団)

[⑨ポンプ操法 (1コース 小型7分団, 2コース ポンプ車5分団)

⑩小隊訓練 (Aコース 6分団, Bコース 11分団)

[⑪中継送水訓練 (ヘリポート 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11分団)

[⑪小隊訓練 (Aコース 女性分団)

※ ③, ⑤, ⑦, ⑨, ⑪は同時進行

※ Qで示す分団は, 中継送水訓練終了後, 4名で消防車両を運行し詰所待機する。

12 消防操法訓練披露

「令和 6 年度北海道消防操法訓練大会」出場隊

7 月 1 2 日（金）北海道消防学校（江別市）において開催

- (1) 訓練内容 ポンプ車操法
- (2) 出場隊 旭川市消防団 第 2 8 分団

13 その他

気象警報発令時または各種大規模災害発生時は，大会長の判断で訓練を中止する。